

同日軌條を進み來れる

如く不可思議にも相似たる點を
からし、即ち國武工場主國武喜次
郎氏は、天秤杯一本の素菜食より
身を起して今日の成功を贏ち得た

人より叩き上げて今日の巨富を致せし人、共に商人の尊厳没からず

んで、相倚り相救けたりしなり、
國武氏は朝鮮に於ける
○農事經營の有望なるを

州視察團を組織したる動機は實に
同氏の德意に係りしもの此略に於
久留米は視察團と取りては意義

羊頭狗肉

○耶馬溪ヤマギの勝しょうを採とぐるを

以て此の旅行の山となし、中津驛
 より耶馬溪鐵道に乗換るや、案内
 者の吹聴の勞を待つまでもなく、
 氣は既に天下の奇勝に吞まれ山陽

切見
 去

展開し來らんとする大自然のフキ
ルムは看客の好奇心と、憧憬と、
驚嘆とを挑起せしめんとしたり、

其の
 日少なること大望
 祈し乍ら、鮎返りを指され、佛坂
 耶馬溪松間の景を紹介された時
 は、其の

想像の大なりしを情いすして、
 川陽に欺かれたるを憤慨し、羊頭
 狗肉の耶馬溪を罵りたり、恰も御
 京坂本町一丁目

後にて知りたる事にて、我々は案
 断するが如き爲證なりしも、是は
 を速断し、石板に記られたるを情
 神符玉瑱を併せて、馬主の杜松
 電話六三五番

口誇大に信じ 大絶勝耶馬
溪の存在を知らず、踏まず、觀
望して、中實々々々々失望の聲

を疑したるは、聊か滑稽なりし。

六月一日より
五日まで
夏物新柄大賣出し
見切反物
よせぎれ
京橋本町一丁目
丸一呉服店
電話六三五番

朝鮮では初めて

の場合には拜殿を神輿殿に代

鯨は昨年より不漁なれど

鯛十匹に付八圓五十錢見當

南に於ける本年度の清酒醸造

如何に質屋に依り其便宜を得つ

補民金融機關生活の補助機關

の價額を有す物品を以て一圓五

何時も汗流であつた少年
な衰弱を來たした様に見ゆる

が室内の沈黙と悲氣は一層深

古新聞紙に包んで貰つた。

心の縁に三井口家の奥に對し十萬圓の
叔父の要三井口家の奥に對し十萬圓の
金を脅迫した謹之助の従妹の貞子は出

▲鬼小島 綱太郎
米國・ソルトン會社作務係はまる

ありませんか呉服店でも木
を吸つて唇も乾く心配

久保濱吳服店

部 正^{ただ}すの^{みづ}で^{みづ}い^{みづ}は^{みづ}す^{みづ}の^{みづ}水^{みづ}

化粧の手際でございます。

なすものである。定價

[illegible]

第九十一席

悟道軒圓玉口演

大輔藤孝は考へる所あつて病氣と
稱し當時居城丹後川邊へ立歸つて
居る、是は密かに兵を催して京へ

以上三好、松平を喰ひ兼ねてゐる
々の事は忠臣、山名監物に頼んでゐ
る。山名監物は上杉家の直江・山城
守と懇意であるから、之れは上杉家
の義兵（京へ上る）を待つて東西西南
北より三好を討たんとし、了見の
糸川川の軍兵を今少し止めて時機
を待つて居ります。併し時機は追々
々々切迫して三好一黨の勢力日毎
に加はり今は猶豫に及び難き形勢
となりましたが茲に一つの驛面起つて、
愈々將軍義隆、將軍朝信に構へ
死を遂げるるといふ大活劇に引移さ
す。

[illegible]

金剛山探會要書

金剛山勝繪葉書
（一組）定價三十六錢
（六枚）郵稅二錢
朝鮮名勝繪葉書

金剛山の分は萬物相の朝霞
 龍淵の秋、赤壁登る朝、海金剛
 朝鮮名勝の分は大同江
 主龍潭の實地に描し加ふるも最良
 其の紙質を以て印刷は歐米の夫れ
 紙質を以て選色なき鮮麗なる又
 得たき良品なり

京城太平通二丁目
 京報社代理部
 電話稿内十八番


三枚組 郵税十八錢
 定價十二錢

ブス
ルコ
きよ

第一等の
キナゴリン

一服にてきめ現はる
 價 十錢、廿錢、卅錢、五十錢、一匁
 大坂市堂島
 本舖 高橋盛大堂藥局
 ③ 到る處の藥店に販賣す
 山村眞太朗著

常銀行ハ頭金、貸附、爲替等一般銀行業務
ヲ確實親切ニ取扱申候
京 城

 朝鮮銀行


振替貯金口座 京城三三三

支店 東京、大坂、神戶、平塚、仁川、元山、大邱、釜山、遼陽、龍江、
長春、滿洲里、海拉爾、齊齊哈爾、哈爾濱、吉林、哈爾濱、
出張所 長春、滿洲里、海拉爾、齊齊哈爾、哈爾濱、吉林、哈爾濱、
右ノ外内外主要ノ地ニ爲替取引先有之候

產婦人科
二宮醫院
京城壽町
電話一七〇一番
醫學士 亮宮二吉

無比筆
「學生號」萬年筆發賣
「萬年筆」
特設八折
發賣元
京城日本通一丁目
郵政電話三〇〇番
京城日報代理部

クラブ白粉 おしろい
 應用の貴婦 おふ
 人令嬢式 じんれい
 化粧法圖解 けいしやうほう
 紅頬ブラク べにほ



粉白粉ブラク

お化粧の順序

(二) 皮膚の美を養ふ化粧の下に、まず身に着ける。顔を洗つて、顔を乾かして、よく拭込む。

洗
粉

ク
ラ
ブ
ゼ
リ
ー

(九) クラブ粉で眉を作る。

[illegible]

發行所 東京日報社
電話 九六一六、二六三二

か霜降は霜つて其多きと云ふなりまし。上總の國許では其血縁關係ある者は此の

五月廿六日讀書の梗概
 文學博士 井上圓了
 敬啓に就いて研究をせし
 所を述べた。其の要は、
 宗教に對する態度を、
 今日のように旅行案内といふもの
 態にあるのであります。
 時、度家族が晩食をして居たので
 す。其所に彼の人々が今歸つた
 といつて、不意に姿を現はしたので皆
 母の改良
 文學博士 李範昇

れぬかれざるものゝ心中はゆく
のゝ心中より尙淋しくかなしき

[illegible]

ものである。さすれば、一時の腰掛
的でなく、永住して、眞の働をな

當をつねなのですが、それによるて止まぬものは自然家庭外に此れ
とどうしても歸りが早過ぎる、を求めて遂には墮落のどん底に陥
れて指が不思議に思つたのです。しかし男子は此の温情を求む
するも其の姿が忽ち消へてしまふほどの憧憬と地位を有するが女
たよいこです。又嘗て高知市子に此れを求むるに憚なく又求む

東吳臬憲推此翁。古今誰復共爭雄。文何苟作資風教。錄到無刑啓

つきの如き將天狗にさらはれたるの如き即ち是であります。私はれまでも色々の幽霊を集めてみましたが、普通に幽霊は墓場にあらずしてか柳の下に出るとかいふ時、これは世主を甘茶た子で飼ふて又欲求しないのではない、彼等の話をし度と。四つになる子被等に於ても此の温情を決して知來たので酒を飲みながら四方八方へ何んなる悲慘事であらう。

所が就職した人がありました。此れながらにかく可憎一生を浪費した人は親を市に發して妻と二人で赴き蒲團の下に送り且此の下に死なね

韶風追俊約。古亭怡良辰。曠觀愛雲物。嘯詠樂天真。雖無流觴興。

があるといふことに懸念するから、到底信するを得ないのであり。聖賢聖人の幽靈は心の反射。幽霊などないのであつて、佛へは両親は何を馬鹿な事を叱りつけてしつゝ僅か熱き涙に其の切なき心。やうなものです。起きて居別に氣にも留めないで居ると、十を添くのである。

時。與君欲用騷亡跡。落落山河一
卷詩。蓋嘗曰。慨當以慷。飲馬黑龍。果有
何人。

ある體態には處によつて其の姿
ちがつて居るのによつても分り
知らせに來ました、而も其の時刻
す。即ち日本の幽霊は不透明で
西洋の幽霊は極めて透明で
又内地の幽霊には足がなく
ちがつて單に迷信のみいふべき
に僅か餘響を保つよりは、離れさ

有^うた木^き綿^{めん}で詰め^{つめ}塞^ふき蓋^{たか}の上に三^{さん}四^し百^{ひゃく}圓^{えん}の重^{おも}石^{いし}を
敷^おき、十^{じゅう}分に表^{あらわ}立て^{たて}サ^さと石^{いし}の鼻^{はな}を衝^つく頭^{あたま}を

等生豪人が首を斬るのを一種の如何に之を説明すべきかといふと
 聲として居るに拘らず、矢張りが次に起るところの問題でありま
 心に於て之れを快しとして居す。此の事に就いて私
 心からであります。即ち首を斬がつまきよ。は再婚
 たさきの現象が首のない首である。この理に就いては再婚
 てわられぬのであります。又雄飛は物界に於て今日無線電機に
 果して彼等の幸福だらうか。

て熱度ねんどを損こする

持の間に、それは住持がまだ子
信とのみ断ずるを得ないに
等て東海道三島の或る
精神電氣は如何にして傳はるの
あるか、此の説明も私にいはせれ
ば、
其の重荷を觀が、
於て口角乳臭き者に世帯を持たせ
加へて、
困窮を知りしめば斯の如き輕薄
の行爲は出来なだらうと思ふの
行爲は出来なだらうと思ふの
加へて、
於て口角乳臭き者に世帯を持たせ
其の重荷を觀が、
於て口角乳臭き者に世帯を持たせ

種油で拭くことゝれる。さうして其のあとに揮發油で拭きこる。

歸りに三島の或る宿屋に泊つたじく、精神電氣の場合にもやはり、習を打破し得るだらうか？見よ！
うです。ところが其の中の一人、或る種の條件を必要とするのであ
行、觀覽者中、多くの女子は其の邊

面廿 ◆ 概 梗 ◆ BLUE BIRD ◆ 概 梗 ◆

於有樂館

米國ユニヴァーサル會社ブリウバード映畫
◎森林「人の力」美譚 全五卷

◎ 森田美譚 原名
人の力
“The Measure of A Man.”
全五卷

◎ 活劇
原名 (A Love Girl)
ア・ラブ・ロ・シ・ア
全五

ルイズ、テプリー嬢出演

母を失つたアシプロロジアは、富める伯母の家に取れた。伯母は皮女の一擧一動に口宣しく、

浴した南米の大森林は神々しく雄大である、
 失つたペチーは涙の眼を拭ひつゝ父の靈を慰
 べく村人と共に牧師を捜した日はドツブリ
 れた。酒と煙草を放逐されて之の大森林に一
 ヨンは神學校を卒業されて之の大森林に一
 露を凌ぐふとした
 村人はジョンを牧師と尊敬したジョンの素
 一變した彼は森林中に瞑想と思索に耽り清
 活の道を辿て村人を神の教に導く様になつ
 たジョンは信仰の權化となつた、村人は強
 たジョンを牧師に推薦すべく大僧正を呼だ、

を興へたアンブロジアは伯母にケルチー
云ふ字名を付けた、アンブロジアは清楚の
邊に鶴と鴨を眺めて隣の金持の男の子ジョウ
と仲好く遊の如く唯一の樂であつたケルチー
一人娘ベチーは貧しき一人の青年と戀仲に落
居たケルチーは娘をモット好い處へ嫁に遣
爲め此の青年の望を碎ふと試みた
ケルチーは金の御幣昇でスワミと云ふ印度人
覺術師を頼んだスワミは多額の贖金を捧上
してベチーを隠した、アンブロジアとジョウ
はスミの巢窟を衝止めたかジョウは捕へ
れた、アンブロジアは九死を逃れて警察へ

僧正はジョンの父であつた、清き心しき大森林はベチーとジョンの仲よぶの神であつた、雄大なる大森林

◎先客五百名に限り特製

念繪はぎき一組三枚を御進呈仕候
た天誅は加へられたスワミは有名な詐欺師
つた、アンブロシアとジョウジは此の大國圓
主人公である

名女優 エラ、

ル嬢。ルイズ、ラヴリー嬢 出演

映 寫 時 間
森林美譚 人情活劇
アンブロジー
八の力
教育お伽月宮殿
說別者 藤野垂虎 南郡公利 千代田雪

◎今回到臨り觀覽料左の通り

五卷 ^{午後より}	五卷 ^{午後より}	五卷 ^{午後より}
一等席金七十錢	二等席金五十錢	三等席金三十錢
軍人學生小供半		

本興行に限り從來發行の特種入場
一切御斷り申上候

米國ユニヴァーサル會社ブリウバード映
 ◎教育「月宮殿」全五卷
 お伽劇
 原名 Title Crippled hand, エラ, ホール嬢出

ちと、茫然として代金を貰ふ事を忘れてしまつた、憐れな乙女はこんな小さい落度の爲めに、備された運命の神は彼女をシンデレラお伽噺の女に導た、リチャード青年は其劇場の持主であつて、小さい美しき乙女は其を抱きかかへて、

憐れの乙女フラワーには親も兄弟も家もな
た鼠の糞崩れか、つた壁、荒木造の寢臺
晒しの藩團、之の穢い屋根裏の一室か乙女
てはタツタ一の自由の天地であつた、彼女
先きの小間物店から歸つて來たとシンデ
先きの小間物店から歸つて來たとシンデ

めて又も樂しきシンデレラの夢を辿つた、一國
スタードドンナ嬢はリチャード青年を虜にして
と富の權化と迄謳はれた、ドンナは多情の女
あつた、天才の音樂家はドンナの戀に破れて
輪の花賣男となりて浮世を呪つた、怒りに
を花賣男はドンナの胸にピストルを差向け

貴公子然たる青年リヂヤードは、女神の囁いた乙女は急いで勤先の小間物店に行き、花の若草、清かな天女の歌、美しき天國の花の野にさまよつて居た。

機一髪、乙女は待つて下さうと男の腕を握り、
 たリチヤードはドンナと花賣男の愛を四年間
 其れに廻らせた、憐の乙女フラワールは温い
 ヤード青年の愛を享け紫雲飄く夢のバラダイ
 に遊ぶ事となつた、鼠の糞と茶、屋根裏の一室
 ナンダの批、今も凡てなつかしい自鏡の

三求めた、不遇の王女シンデレラを救つた傳し
様、自分かシンデラで之の青年か王様であ
ツポロビール愛飲家に限り本紙
高刷込優待券切拔の上御持參の御

三入場料半減致候

陸海軍協定調印經過

なるを認め兩國間に懸念無く所見の交換を行ひたる未本年三月二十五日を以て帝國外務大臣と布邦支那公使との間に印紙の通ひ公文の交換を了するに至り、依て帝國は右交換公文の趣旨に基き帝國陸海軍より委員を北京に派し支那陸海軍當局と會商せしめたるが交渉圓滿に進捗し陸軍側協定は五月十六日海軍側協定は五月十九日夫れく御印を了した、斯く今次の協定は前記三月二十五日の交換公文に基き協同防敵に就き兩國陸海軍の協力すべき方法及條件を具體的に收極たる

建廣東兩省方面には南北軍の戰開約一週間に亙り繼續せ

銀一 謁言 音和軒
銀氏は第一路司令部を天津に移轉するに決し、二十九日午後算帳を
へ特別列車にて漢口出發北上せるが副官交通主任、參謀一名及び
二營の兵は漢口に殘留せり(漢口特電)

陸辦公署は二十九日張懷芝曹錕氏等に訓令を發し速に海を平定し北軍大舉して廣東攻撃を爲すに便ならしむるに努

十日宮中兩溜間にて志佐主計
 監以下千五百九十二名に對し位
 階叙の御沙汰ありたり
 (東京特選)

三元帥海軍協
 資座の部 未拂込出資金七萬五千五百五十九圓五厘上取付金十二萬六千二百五十五圓五厘東北地方六萬八千四百九十六圓九角九厘
 錢屋銀勘定六萬四千八百九十九圓九角九厘
 四十六萬九千九百九十九圓九角九厘

●昨日本市
陸各万の計五年の市
其他と協議する處ありたり

勿託送を爲し其成程如何に依りて
 は母航東京迄大輸送を開始すべし
 元山轉也
 井上博士著新井上文學
 收入に比すれば八萬六千六百八十
 萬圓に比し十萬九百七十五圓（
 割四分）を超過し前年度同月分
 五十二萬四千七百七十三圓、
 五十二萬四千七百七十三圓、

●立花師團長著全

京畿道管、内水原地方、金融組合、
 下三組合に於ける金融状況を、
 四月末現在調査に依れば、組
 合の力乏しく、大の悪影響を來すべく、
 今日、宗情が、沈没したり、とて、
 に、廢統する事は、兩地の取引上に、

増加を示し一組台平均四百
人の割合となり預り金七萬

七、七百五十九圓八十八錢五厘貸付金に
 頭牝九十三萬八千四百十三頭馬
 及び家畜數は牛百三十八萬四千
 百九頭中牝四十四萬六千六百九十

其内譯左の如し
▲負債の部 出資金十一萬三千

A black and white photograph of a dense, dark forest. A light-colored path or stream runs vertically through the center of the image, contrasting sharply with the dark, textured foliage on either side. The image is oriented vertically on the page.

一頭を減じ山羊は一千四百一十二頭を増加せり
有松法制局 長官は朝鮮視察のため二十九日

好にして
 改良種及
 雞種の普
 及成績は
 甚だ上
 長にして
 豚四千八
 百三十三
 頭、鶏六
 千二百三
 十六頭、
 西二百八
 十羽を増
 加す殊に
 豚鶏の
 増加は著
 しい。

古海總長檢閱
 古海總長
 檢閱
 古海總長
 檢閱

より大連に直航せし
 等

管内鐵山宣川博川の各縣
開義州安州の各憲兵分隊

が之れを遺別にては京畿道六十六
戸忠南五千戸全北六十六戸金南五
十戸慶北五十戸慶南九十三戸黃
海道四百二十五戸

地方視察中の小原鐵商工部長官
六月四日歸任の豫定なり

川田報局長入京 川田

したりと依て第八回收容客實數は三
上歸東の豫定なり

主計會議終了 本月二十
六日以來開會中なりし憲兵隊司令
部主計會議は二十九日をもって終了
なり同日に對し紀念品贈附の計
き這回三島鎮理事西村第一報
店長、馬場東亞販賣所長等發起
年々交友知已夥からざるに

支店にては六月中旬石垣東和興裁
 支店にては六月中旬石垣東和興裁
 支店にては六月中旬石垣東和興裁

<p>同博士ノ現</p>	<p>九州帝國大學教授醫學博士三宅連</p>	<p>同宮内省之助の兩氏は朝鮮總督會</p>	<p>總會に列席する爲め三十日午後九</p>	<p>進捗を圖りつゝありしが觀衆</p>
<p></p>	<p>社株主總會開催機とし一先づ</p>	<p>鮮したるを以て群山の有力者は</p>	<p>南嶺鐵の成否は群山港の發展上</p>	<p></p>

英佛軍も又サンチエリーの南東の陣地より徐々に退却し

●**獨軍の突進繼續**
獨軍の突進は引き続きアンソン及びバンズ間の全戦線に繼續され佛

後員加爾の過激派は俘虜六百水兵七百赤衛軍千七百を以て

[illegible]

以て群山各方面有刀者の臨席並同
を求めつゝあり近日商業會議所に

池上騎衛氏(大飯久原鐵藥所員) 朝鮮ホテ
歩へ
愛媛縣視察團一行 卅一日朝退京開城へ
島田京庵支那人 二十九日朝大連より撫順
に赴き三十日夜同地出發卅一日夜歸京の密

ある長官連が出席を好機として
夕朝鮮會が催されたものを見ね

△林令尹の催しにて勝と裏書がしてあるのを略ぼ當夜の催主が察知せられた「如是我聞一句奉鳴五知せられたる」としてある四角な固い

俳諧趣味ある餘技も一段の光彩が
加はるのだ▲洪塞令尹の句に曰く

功徳も恐ろしや、繪巻書の美人と
向合に『高麗』になき江戸の昔浦の
花を見よ』と造つたは大塊宗匠
である、他人は知らず京威名妓の

か「是は強制叱行の句に非ず」
 など御丁寧な断り書きなども附い

だ、知識の交換だの、交換経済だの、少し堅過ぎるが、貴兄のお嬢を總領の嫁に頂きたい、其代りに手前の次男と貴家土蔵がせよう、

運の交換會は少々振ひ過ぎて居る。『オイ君の其羽織を人札せよ』

申合せてあるきうに

祝大正疏水竣工式

此經霞山

鴨綠江南百里程。疏江新竣湧漱。

雨○裡○江○山○如○隔○簾○。檻○前○新○綠○美○於○花○。
花○。遠○來○堪○賞○五○龍○閣○。一○路○飄○風○。

の事、
三ノ
四ノ

電話五二八番 社主 高山 武
 大正七年五月廿七日登記
 五拾七番地ト更正ス
 海州地方法院
 金川出張所
 勸貯蓄の實行は最も手輕なる月賦賣
 業ヲ組六八回六七一拾圓券初通知三圓掛回意圖上

朝鮮總督府買價
 支那出張所開設
 代理店増設
 日本郵船會社
 支那出張所開設
 代理店増設
 日本郵船會社

朝魚總督庵

浮標設置工事入札
浮標設置工事 壹ヶ所

品上

おじきて美味くて



位
一、順化院病室ヲノリユム敷工
行來ル六月三日午前十一時入札
希望者ハ當府門前ノ掲示ヲ見
京 城 府
國九升權は 五人以上の
御本權は 三人の
(四升二合時御家計に

忠北自動車組合
胃腸病科
石川醫院
電話 二三二九

一より三頁間

見切格安品澤山取揃申候

電話九〇。番

當組合規程により去る四月十五日より改良實施致し鐵に付保價の便宜順を賜り厚幸見盼
 追而炭品に對し登記事項注意を乞ふ
 根炭 改良品赤布に金郊改良検査済の證を附す
 白炭 は白布に前記號の證を附す

無き能はず。次にバルフォアが「政府が正當なる平和提議に對して講和速速に戰局の推移と共に熟しつゝある一端を窺ふに足るの點」英國に於て講和の議

